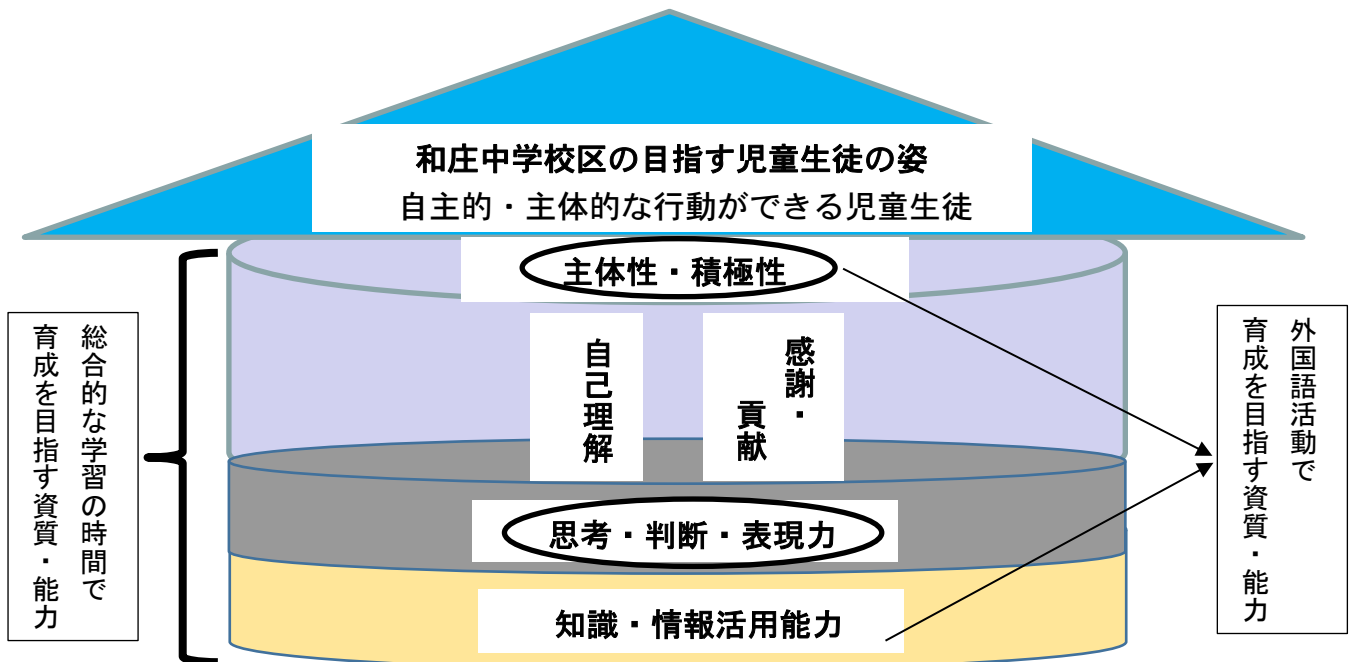


授業後の変容

1 中学校区で育成を目指す資質・能力について

設定した資質・能力	目指す姿（中学校区で、どのように定義しているか）	キーワード
知識・情報活用能力	課題や目的に応じて必要な知識や情報を選択することができる。	選択
思考力・判断力・表現力	既習の知識や情報を、比較・分類・関連付けて表現することができる。	表現
主体性・積極性	自ら課題を見つけ、その解決に向けて進んで挑戦し続けることができる。	挑戦
自己理解	他者との関わりの中で、自分の長所や短所を正しく理解し、自分の役割を果たすことができる。	自立
感謝・貢献	自分がまわりに支えられていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝・貢献しようと思えることができる。	協働

2 それぞれの授業で育成を目指す資質・能力【外国語活動 総合的な学習の時間】



3 外国語活動で育成を目指す資質・能力に向けて工夫した点

○ 教科で閉じない授業づくり…各教科で学んだことを総合的な学習の時間につなげる。

外国語活動・・・英語での伝え方を習得



総合的な学習の時間・・・新聞作り

「呉のお気に入りの場所について」

～シャーロット先生に呉について**新聞**を使って**英語**で伝える～

* 新聞作りには本中学校区で育成を目指す5つの資質・能力が全て含まれています。

(例)①シャーロット先生に伝わるように工夫して呉のよさを伝えたいなあ。「主体性・積極性」

②英語でお気に入りの場所や道案内をする仕方を学び記事の材料にしよう。「知識・情報活用能力」

「主体性・積極性」

「呉について英語で伝えたい!」

③記事にまとめよう。「思考・判断・表現力」

④新聞を使って友だちが呉の紹介をしているのを聞いて、友だちや自分のよいところを知ったよ。
「自己理解」

⑤全校のみんなや家の人、地域の人にも新聞を読んでもらいたいなあ。「感謝・貢献」

- 「育成を目指す資質・能力」を意識した場の設定を確実に行うこと～本時の授業から～
 - ・ 2人の教師がモデルとなり2通りのダイアログを比較させて、どちらの言い方が良い言い方かを考えさせることで、**思考し判断する力**を育てる。
 - ・ ペアで話したりやり取りをしたりする場面を設定することで、**表現する力**を育成する。



教師のダイアログを比較
「どちらの言い方がいいのかな？」



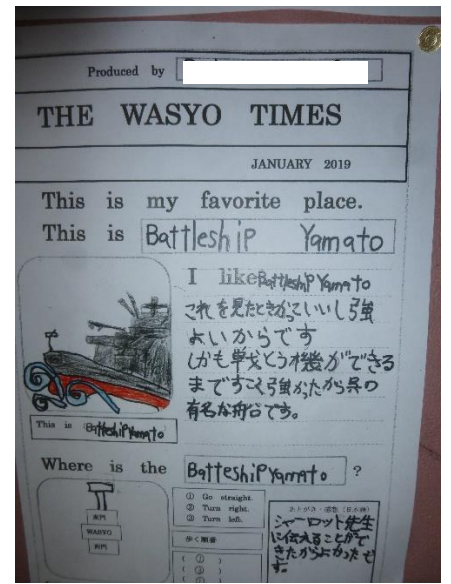
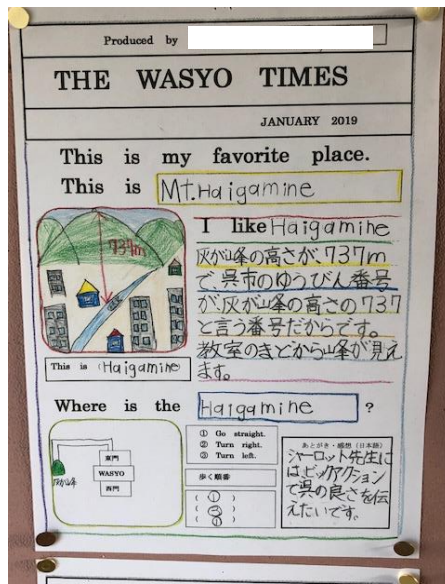
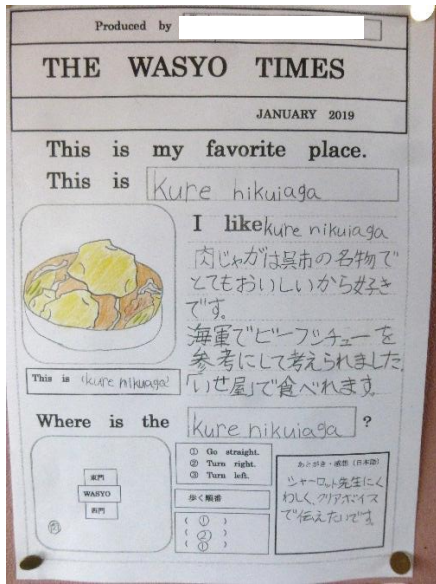
「友だちとのやり取りで表現力がつ
いたよ。」

4 児童の変容【外国語活動→総合的な学習の時間】

- 日頃の生活の中で外国語を進んで使える児童を育てようと、4月から歌、チャンツ、ゲームなどを通して繰り返し指導することによって児童が実際に使える語彙が増えてきた。今回の授業はその語彙を考え使える絶好の機会となった。**【思考・判断・表現】**
- 外国語活動を総合的な学習の時間につなげたことで呉についての情報や知識を集める力がついた。**【知識・情報活用能力】**
- 外国語活動では、自分に自信がもてず人前で話すことが苦手な児童が、シャーロット先生に教えてあげたいという目的・相手意識をもつことで、意欲をもって練習することができるようになった。**【主体性・積極性】**
- 外国語活動からつないだ総合的な学習の時間では、呉のことをあまり知らないシャーロット先生に教えるために、選んだ情報や言葉を取捨選択しながら新聞が作成できるようになった。**【思考・判断・表現】**
- 児童は同じ時期に総合的な学習の時間に「ドリームマップ」を作成し、夢を持ち行動することの大切さを学んだ。自己肯定感が高まり、自分に自信が持てるようになった。**【自己理解】**
- これ以後の外国語活動でも堂々と笑顔で発表し、シャーロット先生と積極的に会話をするにつながつた。**【主体性・積極性】**
- 日頃からお世話になっているシャーロット先生に呉のことを教えてあげたいという気持ちが心から生まれ、ふるさと呉についても感謝の気持ちを持つようになった。**【感謝・貢献】**
- 総合的な学習の時間にシャーロット先生に呉の町を英語で案内した時のやり取りでは、シャーロット先生の質問「灰ヶ峯は近いの？遠いの？」「紅葉と桜はどちらが好き？」の英語の内容も正しく聞き取って英語で答える

ことができた。【思考・判断・表現】

○ 本授業後に作成した新聞「THE WASYO TIMES」



○ 本授業後の掲示版



